

HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード来歴

THE-FCA-0801/THE-FCA-0802/THE-FCA-0801L/THE-FCA-0802L  
Gigabit Fibre Channel アダプタ マイクロコード  
変更内容と来歴

マイクロコード・バージョン	内容
300439	新規リリース
300448	<p>(1) LOGO フレーム受信を契機にして、ErrNo=0x8d(SCSI コマンドのタイムアウト時に該当コマンドが XOB 内に残留) のログが採取される可能性のある不具合を修正しました。</p> <p>(2) リンクダウン/リンクアップが繰り返し行われた場合に、ドライバ側の状態に依存してリンクアップ報告が行なえなくなる可能性のある不具合を修正しました。</p> <p>(3) サーバ起動時(Power-On または reboot 時)に、「UNDETERMINED ERROR (未判別のエラー)」が誤検出される不具合を修正しました。</p>
300454	<p>(1) SCSI 起動を実行中にインタフェース障害が発生した場合、インタフェース障害が報告されず SCSI タイムアウトとなる可能性のある不具合を修正しました。</p> <p>(2) パワーオン状態で SFP を抜いた場合、抜くタイミングによって SFP の読み出し状態が維持され続けたまま障害検出されない不具合を修正しました。</p>
30045D	<p>(1) リンクアップを伴う操作 (ケーブル挿抜、FC スイッチの PortDisable/Enable、接続装置の P. OFF/ON) の後に、リンク初期化が失敗することでディスク認識不可が発生する可能性がある不具合を修正しました。</p>
30046A	<p>(1) ファイバチャネルアダプタの初期化を伴う操作 (サーバの電源 ON、アダプタ閉塞解除、マシンチェックリカバリ) の後に、ハードウェアマシンチェックが発生する可能性のある不具合を修正しました。</p> <p>(2) ファイバチャネルアダプタの初期化を伴う操作 (サーバの電源 ON、アダプタ閉塞解除、マシンチェックリカバリ) の後に、リンク初期化が失敗することでディスク認識不可が発生する可能性がある不具合を修正しました。</p> <p>(3) ファイバチャネルアダプタが I/O 動作を実行中、フレームの送信を行えない状態となり、リンクエラーや SCSI タイムアウトが発生する可能性のある不具合を修正しました。 本不具合は、ファイバチャネルスイッチと接続した構成で、且つ、アダプタの Connection Type 設定を"Auto"に設定している場合に、稀に発生する不具合です。(Connection Type を"Point to Point"に設定している場合は発生しません)</p> <p>(4) サーバの電源ON時、ファイバチャネルアダプタを認識しない可能性のある不具合を修正しました。</p>

	(5) Virtual I/O Server での vFC モデルに対応しました。
30047E	<p>(1) フレーム送信不可によるタイムアウト障害が発生したとき、OS やアプリケーションがハングアップする可能性がある不具合を修正しました。</p> <p>(2) ゲスト OS を Deactivate し、Activate を実施した時に、FC 共有で使用しているアダプタにおいてアダプタマシントラブルが発生する可能性がある不具合を修正しました。</p> <p>(3) ディスクとの直結構成にて FC リンクの初期化完了からドライバへの完了報告までに実施していた 2 秒ディレイをスキップする機能をサポートしました。但しドライバが本機能に対応している必要があります。</p> <p>(4) FC 共有で使用しているアダプタにおいて、複数 Guest からの Mailbox 起動処理を実行中にリンクダウンが発生すると、アダプタマシントラブルが発生する可能性がある不具合を修正しました。</p> <p>(5) AccessGateway モードもしくはゾーニング未設定のファイバチャネルスイッチに接続した環境で、複数 OS のリブートを同時に実施すると、ファイバチャネルアダプタがブートディスクを検出できずに SAN ブートが失敗する可能性のある不具合を修正しました。</p> <p>(6) ディスク直結構成において、ファイバチャネルアダプタの Connection Type 設定を“Loop”に設定し、且つ、LinkSpeed 設定を“8G”に設定した場合に、LU を認識しない可能性がある不具合を修正しました。</p> <p>(7) ファイバチャネルアダプタハードウェアの伝送品質を向上させる設定を追加しました。これにより、リンクエラーやタイムアウトエラーの発生が低減する可能性があります。</p> <p>(8) Virtual I/O Server の FC 共有において、ゲスト LPAR の Deact 中にケーブル断が発生した場合、ゲスト LPAR の Act 後にケーブルを挿しても当該ゲスト LPAR にリンクアップ報告が行われない不具合を修正しました。(本件の“ケーブル挿抜”は、物理的なケーブル挿抜、FC スイッチの PortDisable/Enable、接続装置の P. OFF/ON を含みます。)</p>
300515	(1) LTO 7 テープドライブと接続した構成において、4 の倍数でないバイト長の WRITE が失敗する可能性がある不具合を修正しました。なお、本不具合が発生した際、SCSI タイムアウトが発生する場合があります。
300601	(1) AIX サーバのセキュアブートに対応しました。

---

株式会社 日立製作所 IT プロダクツ統括本部 2020 年 7 月

---

All rights reserved, Copyright© 2010,2020, Hitachi,Ltd